

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2014年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

2 練習について

練習はすべてサブトラックを使用する。ただし、サブトラックでの投てき練習は一切禁止する。

フィールド種目の練習は、競技場内で役員の指示により行う。練習時間は、棒高跳60分、その他の跳躍種目は30分、投てき種目は40分とする。

3 招集について

(1) 場所は雨天練習場に設ける。

(2) 種目別の開始時刻、完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 手順

① 招集開始時刻に競技者係の点呼をうける。その際、ナンバーカード・腰ナンバーカード（左右両腰に着ける）とスパイクピンなどの確認を受ける。

② 点呼の代理は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の検査）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理を認める。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意思がないものとみなし処理する。

(5) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ棄権届を競技者係に提出すること。

4 競技について

(1) レーン、試技はすべてプログラム記載の番号順とする。準決勝・決勝の組合せ（レーン順・試技順）はすべて番組編成員が行い招集所及びCゲートに掲示する。

(2) リレーオーダー用紙の提出について

各リレー種目のオーダー用紙は、初日の学校受付で配付する。必要事項を記入し、下記の要領に従い提出すること。

	提 出 先	提 出 時 刻
予 選	招集所入り口付近の オーダー用紙受付係	1組目の招集完了時刻の2時間30分前から 1時間30分前まで
準決勝・決勝	同 上	招集完了時刻の1時間50分前から50分前まで

準決勝以降のオーダー用紙は競技者係で受け取り、必要事項を記入し、必ず提出すること。尚、リレーオーダー用紙の記入例をプログラム巻末に掲載しているので、間違いのないように記入すること。

(3) リレー競走においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用すること。

(4) 4×400mにおいて腰ナンバーカードを、2・3走は右腰に、4走は両腰に着けること。

(5) 1500m・3000mSCは別腰ナンバーカード、5000m・女子3000m・5000m競歩は別ナンバーカードを競技者係より受け取り使用する。なお、5000m・女子3000m・5000m競歩はグループスタートにて行う。

(6) 競歩競技において、競技運営の都合上、男子は35分、女子は40分で競技を打ち切る場合がある。

(7) トラック競技における次のラウンドへの進出について

① $(+\alpha)$ を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、下記の方法によって行う。

(ア) 空きレーンがある場合・・・同タイムの選手の進出を認める。

(イ) 空きレーンがない場合・・・写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

(ウ) それでも決められない場合・・・本人または代理人により抽選する。

② 同着により着順で進出者が増えた場合は、 $+\alpha$ での進出者数を減らすことがある。

(8) 各種目3位まで（走高跳・棒高跳は上位3名、リレーは6位まで）に近畿大会出場権が与えられる。

ただし、走高跳・棒高跳において3位が2名以上の場合は、近畿大会への出場資格決定戦を行う。

競 技 注 意 事 項

- (9) フィールド種目に出場している競技者が、それ以前の試技の映像をコーチ席以外の場所で見ると、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技エリア内に持ち込むことは認めない。

5 競技用具について

- (1) ポール・やり以外の競技用具は、主催者が用意したものを使用する。
 (2) 棒高跳用ポールは、自己のものを使用する。
 (3) やりは検査をうけて自己のものを使用してもよい。その場合の検査時刻は下記のとおりとする。
 検査時刻・・・1男 第1日 12:10～12:25 1女 第1日 8:00～8:15
 2男 第1日 14:20～14:35 2女 第1日 10:00～10:15
 検査場所・・・南側（フィニッシュ側）用器具庫

6 フィールド競技の予選通過標準記録は下記のとおりとする。

種 目	1 年 男子	2 年 男子	1 年 女子	2 年 女子
走 高 跳	1 m 7 5	1 m 8 0	1 m 4 8	1 m 5 0
走 幅 跳	6 m 1 0	6 m 3 0	4 m 8 5	5 m 1 0
三 段 跳	1 2 m 7 0	1 3 m 1 0	-----	-----

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

走 高 跳	1 年 男 子	予	1m60(練)	1.65-70-75
		決	1m65(練)	1.70-75-80-85-88-91-94-97・・・・
	2 年 男 子	予	1m65(練)	1.70-75-80
		決	1m70(練)	1.75-80-85-90-93-96-99-2.02・・・・
	1 年 女 子	予	1m35(練)	1.40-45-48
		決	1m40(練)	1.45-50-55-60-63-66-69-72・・・・
	2 年 女 子	予	1m35(練)	1.40-45-50
		決	1m40(練)	1.45-50-55-60-63-66-69-72・・・・
棒 高 跳	1・2年 男 子	決	2m50(練) ～3m50	2.60-80-3.00-10-20-30-40-50-60-70-80-90 4.00-10-20-30・・・・

※ 1位決定・近畿大会出場資格決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

8 種目別表彰について

種目別3位までの表彰を行う。成績発表後直ちにロビーの受賞者席に集合する。
 （他種目に出場中の場合は代理を出す。）

9 その他

- (1) 写真撮影を希望する学校は、学校名入りの腕章（布）をつけ、総務の許可を得て1校1名に限りスタンド下通路での撮影を認める。
 (2) 閉会式後、近畿高校ユース対校選手権大会の出場校顧問打合せを行う。
 (3) スタンド・更衣室は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は各校で責任をもってバケットに分別して捨てる。
 (4) 競技場内での応援・横断幕については申し合わせ事項による。
 (5) 競技終了後、直ちに競技場の清掃を行うので、下記地区の生徒は本部前に集合する。

第1日 東播 第2日 丹有・但馬・淡路 第3日 西播